



熊本県学校体育功労賞を受賞して

山鹿市立鹿本中学校 校長 若杉幸生

この度、令和4年度学校体育功労賞の受賞に対しまして、身に余る光栄とともに、これまで温かくご支援・ご指導をいただきました皆様方のお陰と深く感謝申し上げます。

私が、教職の道を志したのは、高校時代の陸上競技を通しての様々な体験にあります。私を導いて下さった恩師のもとで、先輩、同僚、後輩と共に汗を流し、励まし合い、喜び合い、涙を流し、培ってきたことが今でも脳裏に焼き付いており、私が指導するうえでの原点となり自分の支えとなってきました。

子どもたちにもこのような体験をさせてあげたいと思い教職の道を志しました。

私の教職生活は、平成元年4月に熊本市立託麻東小学校から始まり、再配置では、玉名市立築山小学校で、体育専科として4年間を過ごしました。県学校体育研究発表校でもあり、授業づくりに「新しい学力観」がキーワードとなり、場づくりや教材教具、学習過程を工夫して公開授業を行いました。このことで体育の授業の在り方を追求し、同僚からも多くのことを学ばせてもらい体育の授業の基礎作りができたと思っています。

その後、平成8年度に地元の鹿北町立鹿北中学校に赴任しました。ここでは、陸上部の顧問として小規模校ながら、大きな目標を掲げ日々競技力向上に努めてきました。また、鹿北中学校赴任と同時に鹿本郡市の陸上競技専門部長を任されました。運営面ばかりでなく、鹿本郡市全体の競技力向上を図るために合同練習会を行ったことを思い出します。

平成11年度からは、鹿本郡市中体研理事長を5年間務めさせていただきました。毎年、学校体育研究大会や保健体育夏期研修会に参加させてもらい、多くの先生方と交流を深めながら学ばせていただきました。また、当時も体育功労者の授賞式が盛大に開催されており、その業務にも携わらせていただき、体育の先生方の熱気とともに、その功績の偉大さを感じました。

平成18年度には、鹿本郡市中体連理事長を1年間務めさせていただきました。中体連大会を運営するにあたって多くの方々へ支援していただきました。また判断していくことの難しさを感じた年でもありました。関係者の方々に支援、協力していただき無事に大会を終えることができたことに感謝しております。

そして令和3年度から2年間、山鹿市中体連・研会長、令和4年度は、県中体連・研副会長を務めさせていただきました。中体連大会開催にあたっては、常に新型コロナウイルス感染症の対策をどのように講じるのかが協議にあがりました。今までと違う状況のなかで中体連大会を運営するにあたっては、関係者の皆さんに大変な苦勞を掛けましたが、そのおかげで、生徒が一生懸命に頑張り活躍する姿を至る所で目にして感動する場面がたくさんありました。コロナ禍のなか、綿密な計画を立て運営をしていただきました関係者の皆様に深く感謝いたします。

いよいよ退職となります。平成元年度に採用され令和4年度までの34年間の教職を無事に終えることに、一抹の寂しさを覚えるとともにこれまで出会ってきた全ての方々に感謝の気持ちで一杯です。

最後になりましたが、熊本県中学校体育研究会・熊本県中学校体育連盟の益々の発展と会員の先生方のご活躍を祈念するとともに、長年にわたりご指導いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。